

Graphtec Studio 2 操作説明書

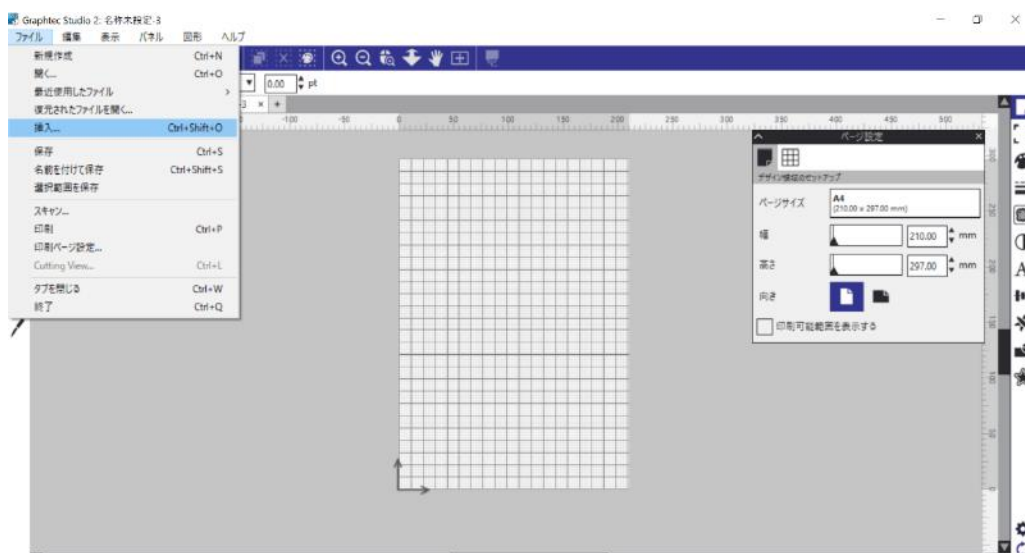
画像データからアウトラインを抽出してカットを行いたい場合（Windows 版）

本資料では、Graphtec Studio 2 を使用して画像データからアウトラインを抽出してカットを行う場合の操作について説明致します。

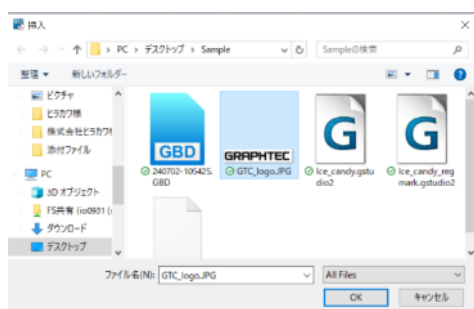
操作前に別途資料「Graphtec Studio 2 インストール、カッティングプロッターの登録方法について（Windows 版）」を参照の上、Graphtec Studio 2 のインストール、並びにカッティングプロッターの登録作業を実施して下さい。

以降の説明は、ロゴの画像データから自動的にアウトラインを抽出してロゴのカットを行う方法について説明します。

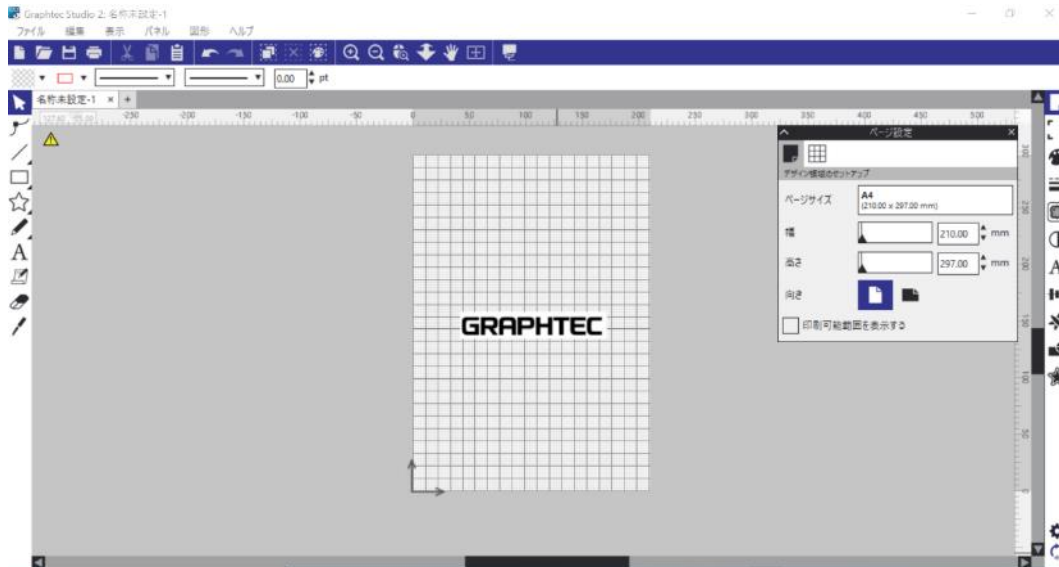
- ① デザインページにてページサイズを「A4」を選択し、向きを「縦」に設定します。
「ファイル(F)」から「挿入…」を選択します。



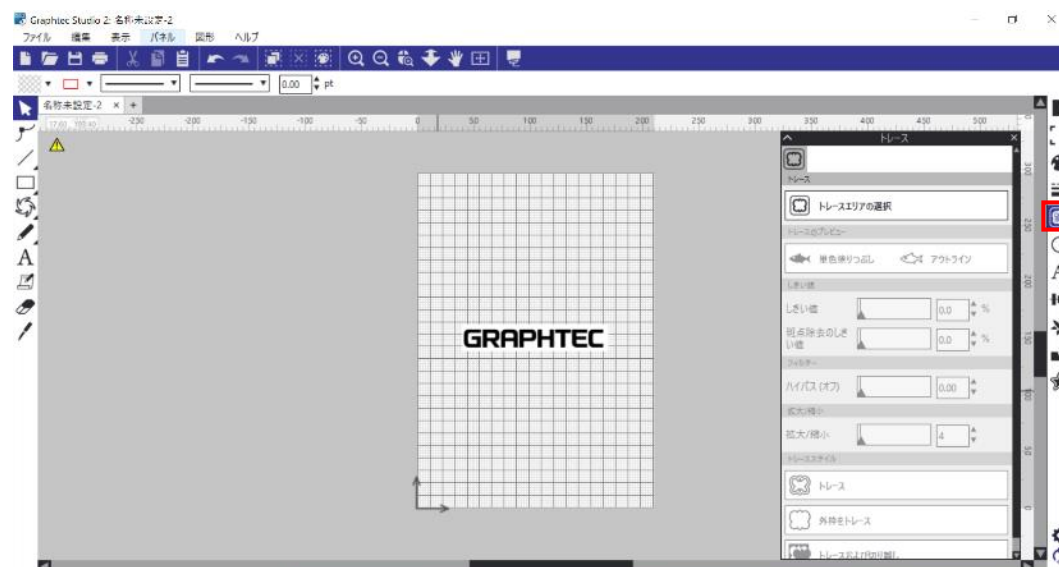
- ② 開きたい画像ファイルを選択し、[OK] をクリックします。



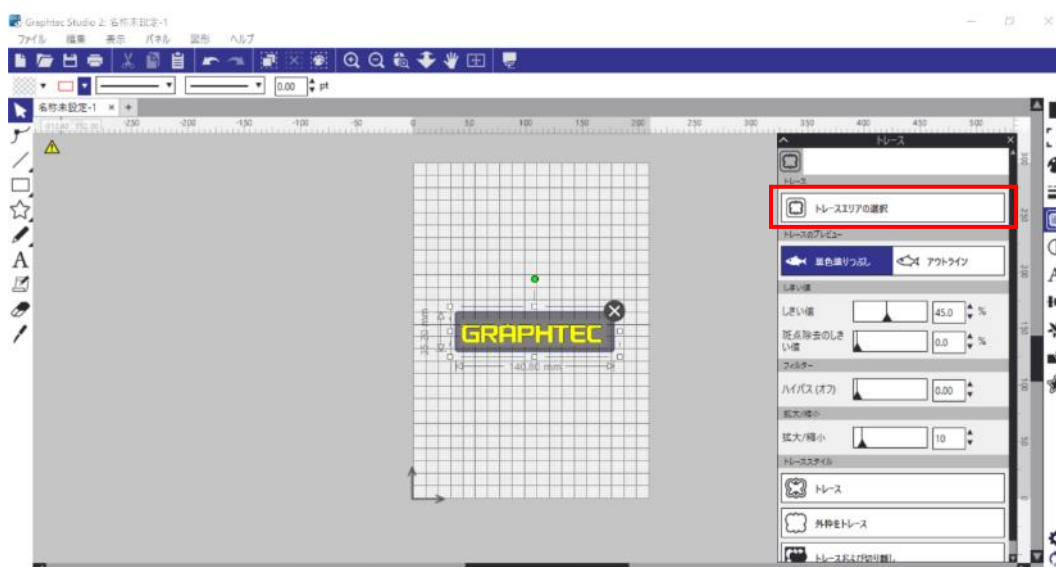
- ③ 画像が配置されたら必要に応じてサイズや位置を調整します。



- ④ 「パネル表示」から「トレースパネル」(下図赤枠内)を選択して、「トレース」パネルを表示します。



- ⑤ 「トレースエリアの選択」(下図赤枠内)をクリックして、画像の周囲をドラッグして選択すると画像の内側が黄色に塗り潰されます。黄色に塗り潰された部分がトレースされます。

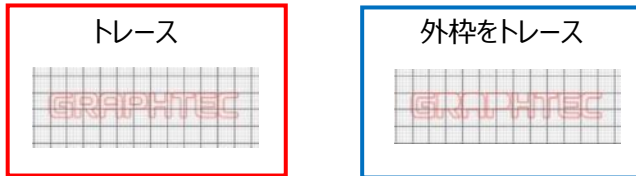


⑥ トレース方法を選択します。

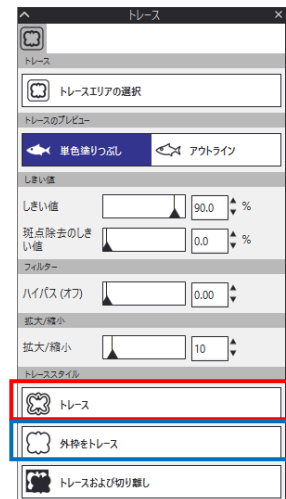
画像全体にカットラインを作成したい場合は、「トレース」(右図赤枠内)を選択します。


画像の外側だけにカットラインを作成したい場合は、「外枠をトレース」(右図青枠内)を選択します。

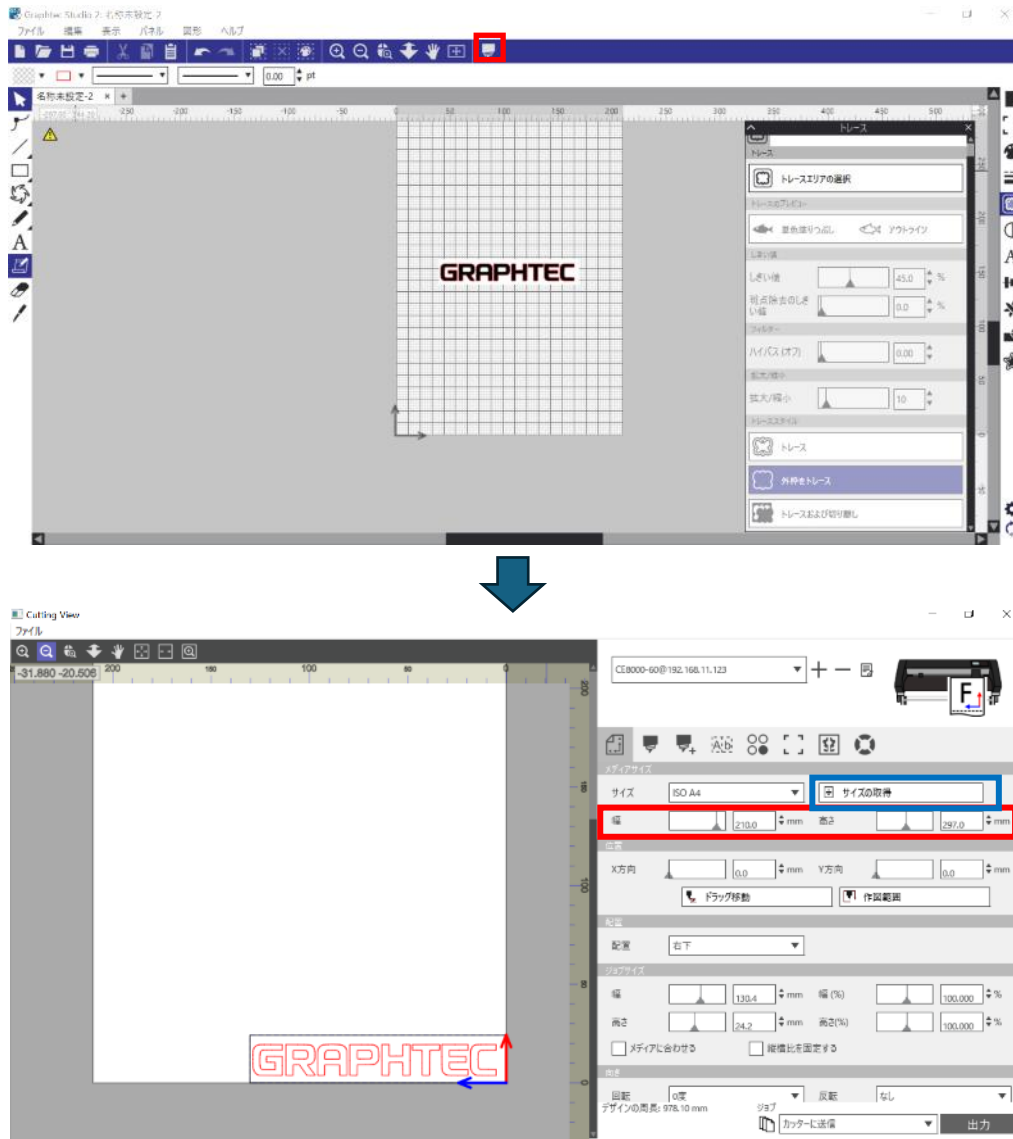
カットラインは、赤色で表示されます。黄色に塗り潰された部分がトレースされます。



(上図は画像データを除いた形になっております。)

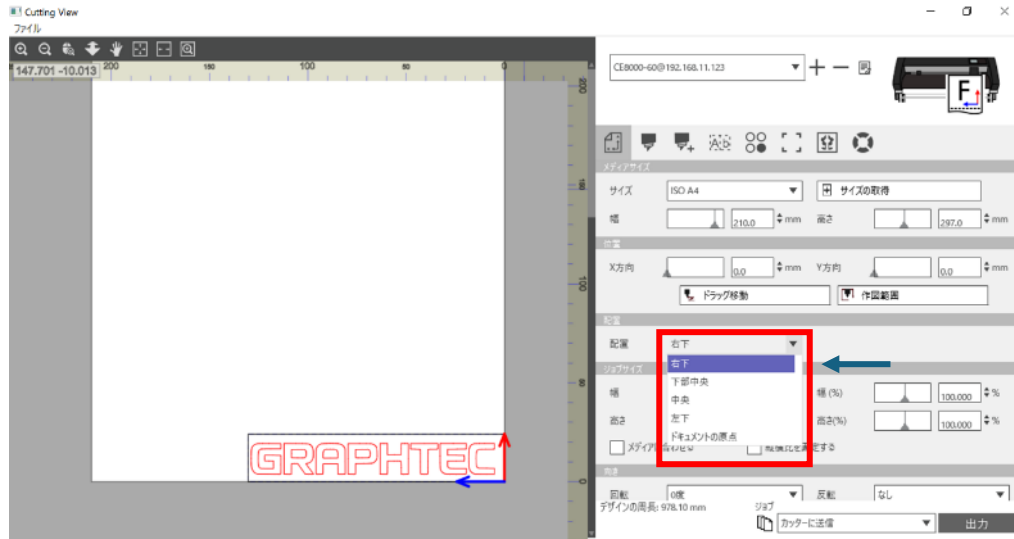


⑦ 「Cutting View を開く」のアイコン  をクリックして Cutting View 画面を開き、メディアサイズを設定します。




プロッターのメディアサイズが判っている場合は「幅」と「高さ」(上図赤枠内)を入力しても良いのですが、プロッターが接続されている場合は、「サイズの取得」(上図青枠内)を選択することでプロッターにセットされているメディアのサイズが自動的に表示されます。

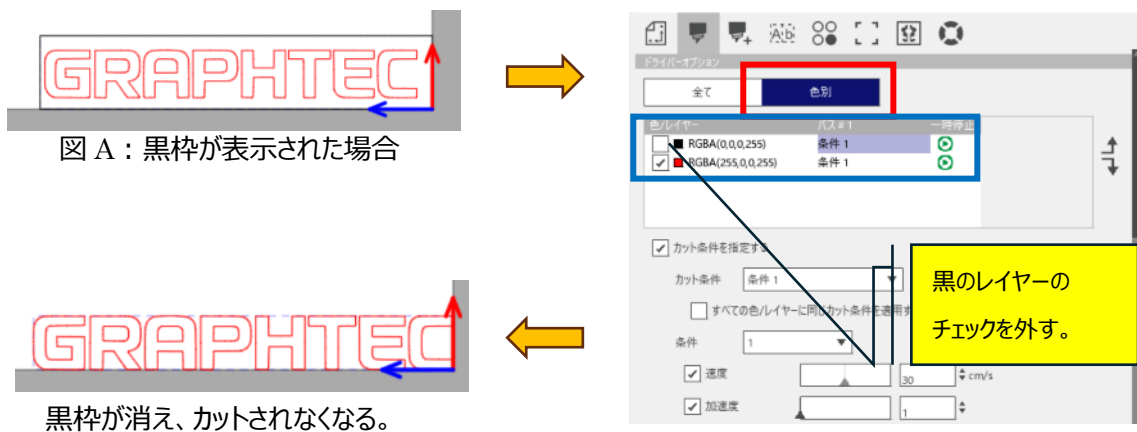
- ⑧ カットする文字列の位置は「配置」で変更出来ます。



右側設定画面を下方向にスクロールすると、向きの設定項目があります。必要に応じて設定して下さい。

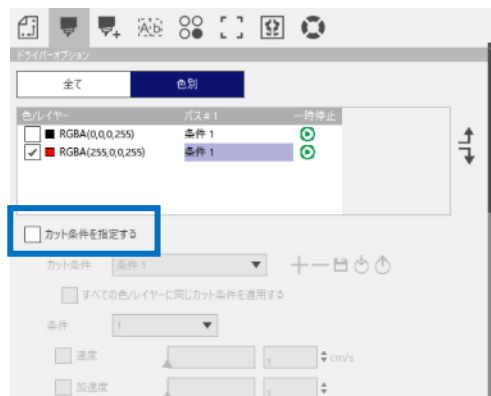


- ⑨ Cutting View 画面で下図 A のようにデータの周囲に黒枠が表示された場合は、「オプション」のアイコン  をクリックし、一番上の選択肢で「色別」(赤枠内) を選択し、「色レイヤー」(青枠内) で黒のレイヤーのチェックを外して下さい。



カッティングプロッターに設定されている条件でカットしたい場合は、「カット条件を指定する」(青枠内)のチェックを外します。

このまま出力するとカッティングプロッター側で設定、選択された条件でカットされます。



カッティングプロッターで設定されている値を変更したい場合は、「カット条件を指定する」(青枠内)にチェックを入れ、

この画面で条件、速度、加速度、カット圧など(赤枠内)を設定することでカッティングプロッターにも反映されます。(*1)

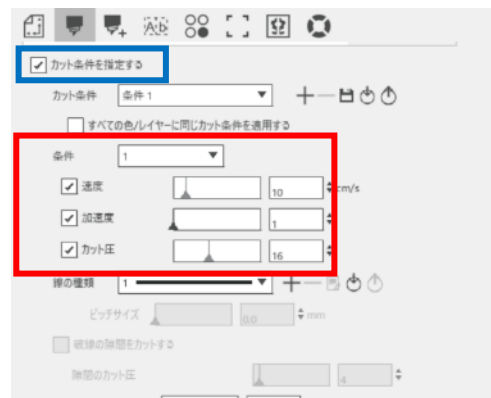
(右設定画面にて「条件」で選択する数字は本体側コンディションの番号となります。)

設定後、カット条件の右、保存アイコンを押すと設定した条件を保存出来ます。

※カッター刃等、ツールのタイプの設定は本体、又は Graphtec

Studio 2 と一緒にインストールされる「Remote Panel

Utility」で行ってください。



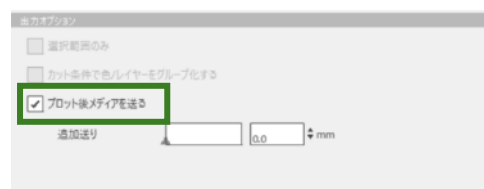
***1 設定通りに動作しない場合は、カッティングプロッターのツール条件設定の優先度を「プログラム」に変更して下さい。
変更方法はご利用頂いている製品の取扱説明書をご参照下さい。**


「出力オプション」の設定は、「プロット後メディアを送る」

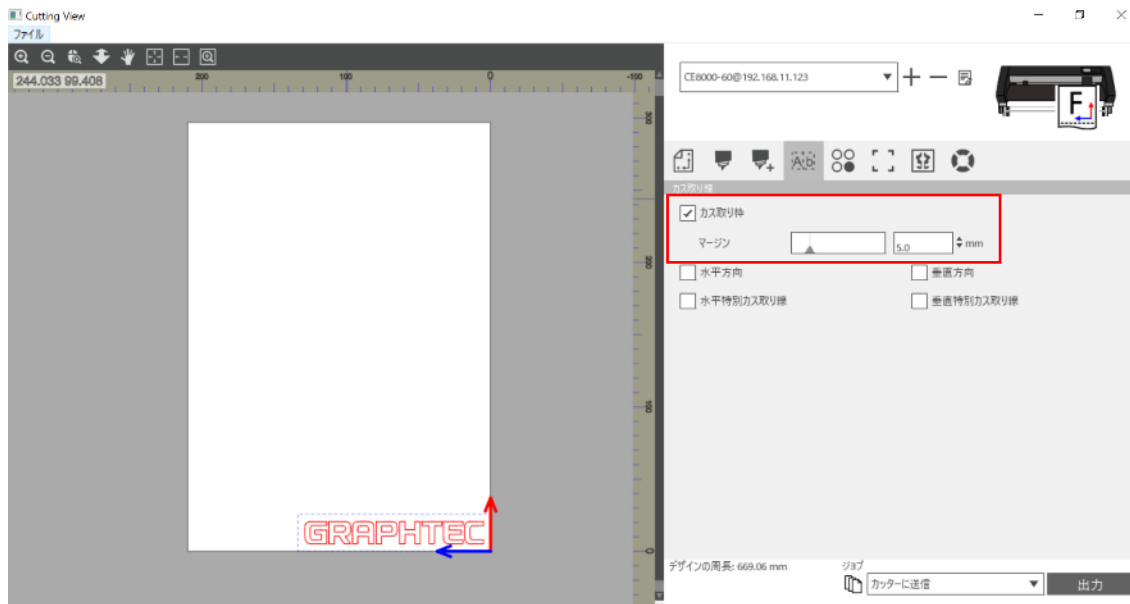
(緑枠内)にチェックすると、シートでセットした場合は、

カット終了時、セットしたメディアを送り、プロッターの LCD にメディアの交換メッセージが表示されます。

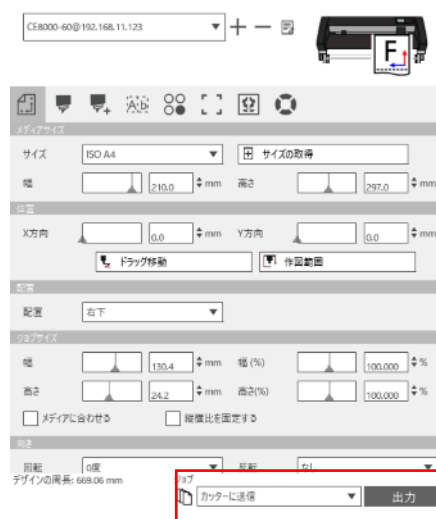
チェックを外すとメディアがセットされた最初の位置にツールが戻ります。



- ⑩ アウトラインをカットした後にカス取り（アウトラインの周りの不要な部分を取り除くこと）用の枠のカットを行いたい場合は、（カス取り線の設定ウィンドウを開きます。）をクリックします。
- カス取りの設定の中の「カス取り枠」にチェックし、「マージン」を任意の値で入力するとアウトラインの周りに四角の枠が作成され、アウトラインをカットした後に周りの枠がカットされます。
- ※枠切りを行うと、アウトラインの周りの不要な部分が剥がしやすくなります。



- ⑪ 各種設定条件後、画面右下側のジョブ欄にて「カッターに送信」を選択して、「出力」ボタンを押すとカッティングプロッターでカット動作を開始します。



以上